



大崎市 農業委員会 だより

【第25号】

令和2年9月1日発行

編集・発行

大崎市農業委員会

〒989-6117

宮城県大崎市古川旭四丁目1番1号

TEL 0229-21-0577

FAX 0229-22-8045

e-mail: nougyo@city.osaki.miyagi.jp

『農業委員会新体制スタート』

就任のご挨拶

農業委員の任期満了に伴う委員改選後、最初の総会（臨時）が去る七月二十日に開催され、会長、会長職務代理者、各専門委員会の委員が決定しました。

また、農地利用最適化推進委員の任期満了に伴い、新たな推進委員を委嘱しました。



会長職務代理者
熊谷 安正
(鹿島台地域)
☎56-4973



会長
佐々木 政直
(古川地域)
☎22-3027

この度、農業委員と農地利用最適化推進委員の改選により、令和二年七月二十日に農業委員二十六名が市長からの任命、また、農地利用最適化推進委員二十六名が農業委員会から委嘱され、新たな大崎市農業委員会がスタートしました。

農業委員の任命式後に開催された臨時総会において、私たちが会長と会長職務代理者を拝命することとなり、大変身の引き締まる思いであります。

さて、全国の農業委員会は現在、「農地の利用の最適化の推進」が最も重要な任務と位置付けられております。その「農地の利用の最適化の推進」である、「担い手への農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止・解消」、「新規参入の促進」に、地域農業者の代表である農業委員と農地利用最適化推進委員が各々の使命を果たしつつ相互に連携し、その成果を上げなければなりません。

今回から、当農業委員会の内部組織として、事業内容を検討する専門委員

会である農地委員会、農政委員会、企画広報委員会を設置し、これまで以上に事業推進に全員で力を合わせて取り組んで参りたいと考えております。

さらに、大崎市の貴重な財産である優良農地の確保に万全を期すために、関係機関と連携した「担い手への農地利用集積の促進」、「人・農地プランの取り組み支援」、「優良農地確保のための農地制度の適正執行推進」、「農業一般に関する調査活動」、「地域農業者への情報提供の強化」を基本に、年々増え続ける遊休農地や次世代の担い手の育成対策にも急務な課題として取り組んで参りたいと考えております。

当農業委員会もこのような課題に的確に対処し、先人が築き上げた「世界農業遺産 大崎耕土」を守り、さらに磨きをかけて未来に引き継がなければなりません。

引き続き、大崎市の農業振興・発展のため、当農業委員会は最大限の努力を尽くしてまいりますので、市民皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

農業委員紹介
 「担い手への農地等の利用集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、農業への新規参入の促進を積極的に推進」

農地、農政



佐藤裕之
(岩出山地域)
☎77-2434

農地、企画広報



武田俊美
(田尻地域)
☎39-7200

農地、企画広報



櫻井正幸
(松山地域)
☎55-3410

農地、農政



小関芳樹
(三本木地域)
☎52-3421

役職名
所属専門委員会



氏名
地域
電話番号

農地、農政



菅原ひろみ
(田尻地域)
☎39-2162

農地、企画広報



鈴木淳也
(古川地域)
☎22-5357

企画広報委員会委員長
農地、企画広報



布塚幸子
(岩出山地域)
☎72-3560

農地委員会副委員長
農地



佐々木正彦
(田尻地域)
☎39-1145

農地、企画広報



齋藤真理子
(鹿島台地域)
☎56-5320

農地、企画広報



佐々木俊通
(古川地域)
☎22-3015

農地、企画広報



高橋英理子
(鳴子温泉地域)
☎86-2207

農地、農政



渋谷裕子
(古川地域)
☎23-9782

農政委員会委員長
農地、農政



中鉢守
(鳴子温泉地域)
☎84-7920

農地、企画広報



横山藏人
(三本木地域)
☎52-6738

農政委員会副委員長
農地、農政



菅原清一
(古川地域)
☎26-3958

農地委員会委員長
農地



中條泰洋
(古川地域)
☎28-2660

農地、農政



高橋順子
(古川地域)
☎22-4585

農地、企画広報



菅原まり子
(岩出山地域)
☎72-4190

農地、農政



只埜和臣
(松山地域)
☎55-3575

農地、農政



下山信行
(鹿島台地域)
☎56-9176



農地、農政



齋藤浩義
(岩出山地域)
☎72-3089

農地、農政



佐々木 涉
(古川地域)
☎29-2353

農地、企画広報



鈴木 至
(古川地域)
☎52-2326

企画広報委員会副委員長
農地、企画広報



小野寺正晃
(古川地域)
☎28-1426

※議席順に掲載



加藤 栄幸
(古川西古川地域)
☎26-3297



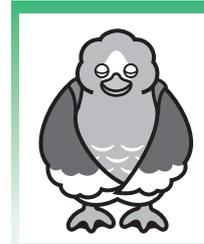
門間 すみ子
(古川荒雄地域)
☎22-3508



茂泉 恵美
(古川敷玉地域)
☎23-9343



中森 昭悦
(古川敷玉地域)
☎23-4386



氏 名
地 域
電話番号



三塚 秀一
(古川宮沢地域)
☎28-3079



高橋 勝
(古川富永地域)
☎28-2454



佐々木良一
(古川清滝地域)
☎29-2707



渡邊 正彦
(古川志田地域)
☎23-5626



齊木 秀
(古川東大崎地域)
☎26-3789



金森 孝志
(鹿島台地域)
☎56-4564



桑添 健一
(三本木地域)
☎52-2489



小高 公則
(三本木地域)
☎52-6698



菅井 宏樹
(松山地域)
☎55-3106



上野 猛
(松山地域)
☎55-3458



千葉 敏昭
(岩出山地域)
☎72-3700



高橋 良
(岩出山地域)
☎78-2756



高橋 芳一
(岩出山地域)
☎77-2402



阿部 博志
(岩出山地域)
☎72-2852



吉田 智宏
(鹿島台地域)
☎56-3106



門間 健
(田尻地域)
☎39-7076



鈴木 要
(田尻地域)
☎39-1610



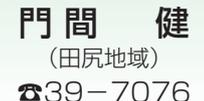
佐藤 伸幸
(田尻地域)
☎39-1329



伊藤 吉弘
(田尻地域)
☎39-2705



高橋 信宏
(鳴子温泉地域)
☎86-2391



鈴木 栄一
(鳴子温泉地域)
☎84-6691

「農地等の利用の最適化の推進のために、担当区域において、現場活動を行う農地利用最適化推進委員を農業委員会が委嘱」

農地利用最適化推進委員紹介

令和2年度
第1回総会・臨時総会

大崎市農業委員会総会開催

令和2年度 事業計画

今年度第一回総会において決定した事業計画は、次の通りです。

基本方針

本農業委員会は、関係機関・団体等との連携を強化し、地域の貴重な財産である優良農地の確保に万全を期すとともに、地域農業者の代表として次の重点事項に取り組んでまいります。

重点事項

- ① 農業委員・農地利用最適化推進委員相互の連絡調整、組織強化
- ② 関係機関と連携した農地利用集積の促進や人・農地プランへの取組み支援
- ③ 耕作放棄地の発生防止・解消対策の強化
- ④ 農地と担い手対策、農業・農村の活性化対策に重点を置いた活動
- ⑤ 農業を担う人材の育成・確保を推進するため、男女共同参画社会の実現を目指した女性や女性農業者の会議や研修会の開催
- ⑥ 優良農地確保のための農地制度の適正執行の推進
- ⑦ 農業者年金制度の普及と定着の推進
- ⑧ 農業一般に関する調査活動・地域農業者への情報提供体制の強化
- ⑨ 農家の声の積極的な収集・集約と、関係機関等への改善策提案

令和2年7月20日の臨時総会において、農業委員会内に『専門委員会（農地委員会・農政委員会・企画広報委員会）』及び『農地利用最適化推進委員連絡会』を次の通り設置することを決定し、各事業に取り組んでまいります。

農地委員会（農業委員24名）【基本毎月の定例総会の前日に開催】

【主な内容】

- 定例総会で審議する農地の許認可等の案件の事前調査・内容検討
- 非農地に係る調査
- 空き家に付属する農地に係る調査
- 農地現状変更届の事後調査
- 農地転用の事後パトロール確認 等

農政委員会（農業委員11名）【年8回程度開催】

【主な内容】

- 農業者との懇談会、農業者との意見の取りまとめ
- 農作業標準賃金額の検討
- 家族経営協定
- 農地利用最適化に関する宮城県農業会議への提出
- 農業者年金の加入促進
- 市長に対する政策提案
- 「農業委員会事務の実施状況の公表」に係る目標及びその達成に向けた活動の点検・評価・農地利用最適化推進指針の策定 等

企画広報委員会（農業委員11名）【年8回程度開催】

【主な内容】

- 農業委員会だよりの発行に係る取材・編集
- 各種研修会の立案
- 全国農業新聞の購読の推進
- 農業委員会行政視察
- 委員の研修
- 一日女性農業委員会 等

農地利用最適化推進委員連絡会（会長、会長職務代理者、専門委員会各委員長、農地利用最適化推進委員26名）【年4回程度開催】

【主な内容】

- 農地の利用最適化推進に関する情報収集と意見交換
- 農地利用状況調査の進め方の検討と確認
- 農地集積・集約化に係る講習会 等

毎月の定例総会日

定例総会の開催は、毎月25日（25日が土日祝日の場合は、翌平日）



チャレンジ農業女子

取材 布塚 幸子 委員長



岩出山地域 布塚 ヌキさん

問 農業に携わるきっかけは？

答 岩手県で夫と知り合い結婚しましたが、二年前ほど前に、夫の実家へ帰って来ました。農業は初めての経験なので、まだまだ手伝いぐらいの事しかできていません。

問 今年一月に子供が生まれ、今は子育ての真っ最中ですか？

答 主に栽培している作物は？

答 お米と野菜です。野菜は近くの「道の駅」で販売しています。そのため、色々な種

類の野菜を一年中作付しています。私もできるだけ仕事を覚えたいなと思います。

問 今までで大変だったことは？

答 野菜苗の定植の時、かがむことが多く、腰が痛くなり大変でした。とにかく未体験の連続で、一日が早く過ぎていきました。

問 農業の良い所は？

答 新鮮な野菜がいつでも食べられるし、時間を気にすることなく子供と一緒にいられることです。

問 今後の夢は？

答 子供が、もう少し大きくなったら、家族で畑の仕事をしたり、めずらしい野菜も育ててみたいです。農業を通して子供とたくさんおしゃべりができたらいいなと思っています。

令和二年春の叙勲

鈴木 悟氏(元大崎市農業委員会会長)「旭日单光章」受章される

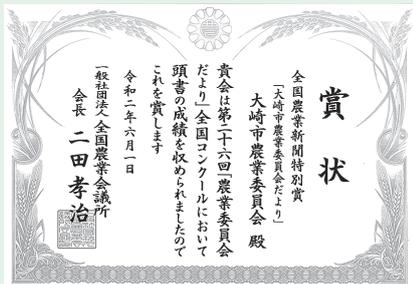
令和二年春の叙勲において、元大崎市農業委員会会長 鈴木 悟様(古川地域)が、農業・農村振興の発展に寄与された「農業振興功績」が讃えられ、栄えある「旭日单光章」を受章されました。本来であれば、農林水産大臣からの勲章伝達後、天皇陛下の拝謁を賜る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、伝達式及び拝謁が中止となりましたことから、永年にわたるご功績に対して敬意と感謝を表し、伊藤大崎市長から六月十二日に伝達されました。



第26回農業委員会だより 全国コンクール

「全国農業新聞特別賞」受賞

農業者等に適切な情報を伝達する広報紙として、平成28年に続き、全国上位賞となる同表彰を本年6月に受賞しました。



農家のみなさんに役立つ 全国農業新聞

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会のネットワークが農業者の立場に立って編集・発行している「農家のための情報紙」で紙面も充実しておりますので是非ご購入ください。

- ◎発行日 毎週金曜日
- ◎発行所 全国農業会議所
- ◎購読料 1か月700円 (年間8,400円：送料込)

お申し込み・お問い合わせは、お近くの農業委員、農業委員会事務局(☎21-0577)までお願いします。

農地に関するお知らせ

農地に関する手続きについて、下記のとおり申請・届出を受け付けています。

①耕作目的による権利を移動する場合（農地法第3条、農業経営基盤強化促進法）

耕作を目的とした農地の売買や貸借等の権利移動をするには、農業委員会の許可等が必要です。

- 窓 農地法第3条・農業経営基盤強化促進法（売買）…… 農業委員会事務局・各事務所
農業経営基盤強化促進法（農地中間管理事業による利用権設定）…… JA

②転用をする場合（農地法第4条・第5条）

農地を居宅や駐車場、資材置場など農地以外の用途に用いるためには県知事による農地転用許可が必要です。農地転用許可は、農業委員会で申請受付・審議を行い、農地転用許可基準から判断して決定した意見を付して県へ送付します。

- 窓 農業委員会事務局

③現状変更をする場合

農地の改良行為として現状変更をするには農業委員会への届出が必要です。

- 条件 施工期間は6か月以内
農業用施設を設置する場合は200㎡未満
- 窓 農業委員会事務局・各事務所

④相続した場合

農地を相続したときは、農業委員会への届出をお願いします。

- 窓 農業委員会事務局・各事務所

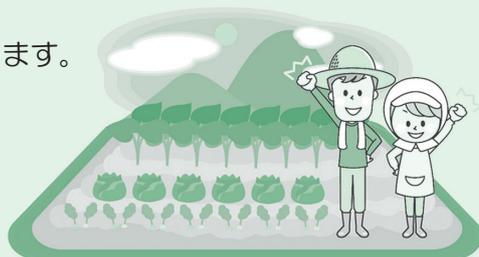
⑤その他農地に関すること

- 窓 農業委員会事務局・各事務所

●申請について

- 申請は毎月10日締切（10日が土日祝日の場合は直前の平日）、同月25日に総会で審議となります。

注：農業経営基盤強化促進法（売買）は前月25日締切。



申請に当たっては事前に窓口で相談のうえ申請してください。

農地利用状況調査を実施しています。

遊休農地や農地の無断転用の実態を把握するため、7月から9月にかけて農業委員会による農地等利用状況調査を実施しています。

調査の結果、遊休農地の所有者等に、「利用意向調査」を実施しているほか、農地法の許可を受けないで、宅地や資材置場などに利用している農地が確認された場合は、健全な農地の維持と有効活用を図るため、該当する農地の所有者・使用者へ、農地法に基づいた指導を行っています。



